

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		環境美化保全対策事業					
事業の概要		<p>本町の町花であるひまわりを配布・育成し、その種から搾油した食用油を、使用後に回収し、バイオディーゼル燃料へと精製するもので、循環型社会への取り組みの促進と確立を目指すものである。町が一体となって環境問題に取り組むことで、循環型社会への意識の高揚と、一人ひとりの意識改革を図るものである。</p> <p><ひまわり夢プロジェクト事業> ひまわり育成、種からの搾油等を通じた自然環境保護活動</p>					
		事業期間	平成20年度				
		総事業費	310	本年度事業費	310	交付金交付額	137
事業評価	事業の必要性	環境問題の解決に向けた生活を実践するためには地域住民の意識改革が急務である。環境問題に取り組む場を身近に提供し、自然環境の保全・リサイクル・ごみの減量化について理解を深める必要がある。					
	事業の有効性	本活動を通じ、住民自らが資源循環活動を実際に行うことで、各人が物の有効利用、廃棄物の減量化について考え、環境保全をより身近に感じる契機となる。					
	事業の効率性	自然環境の破壊が問題となっている中、町が一体となって環境問題に取り組むことは、循環型社会構築におけるモデルケースとなるとともに、循環型社会への意識の高揚と、一人ひとりの意識改革につながるものである。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 住民自身がひまわりの育成や油のリサイクルに取り組むことで、安易にモノを捨てることなく再利用・再資源化するという循環型社会のモデルケースを体験してもらうことができ、自然環境保全の重要性を効果的に周知徹底することができる。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果 廃食用油のみならず日常生活全般にわたり、自然を保護し育む意識、消費財の節減、リサイクルへの意識等、今日の地球規模での環境問題に対する意識の浸透が図られる。							
5 行財政改革に資する成果 住民自らが資源循環活動を実際に行うことで、自然環境保全の重要性を効果的に周知徹底でき、環境問題に対処できる次世代の人材育成に資する。 また、資源の循環はごみの減量化につながり、廃棄物処理経費の削減に資するものとなる。							
6 その他の成果 大量消費社会の弊害ともいえる地球環境の急激な変化は日々確実に進行しており、既に一刻の猶予も許されない状況になっている。本事業はこのような現状に対し、持続可能な社会を構築するための第一歩としての意義を持つものである。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。